

自作ソフトや技術連携を 活かして特殊ネジを生産

期 納
相 談
メイド
イン
ジャパ
試作可
小ロット



多種多様な形状・サイズのネジ

業務内容
1500種類の特種形状・サイズのネジを製造

特殊な形状やサイズのネジづくりを得意とする三和鋳螺製作所。同社は業者の林立するネジ業界の中でも、「特殊ネジの三和」と呼ばれてきた。これまでに受注したネジの種類は累計で約8000種類。現在、約1500種類のネジを常時生産している。

創業当初は建築関係のネジを中心に製造していたが、近年は自動車関係が増えており、その他、家電・医療・介護関係等、多分野の特殊ネジを生産している。

強み

協力工場や大手メーカーとの連携で技術力を発揮

特殊ネジの製造は、圧造・転造でつくった通常のネジの形状から、切削・プレス・フライス等の加工を加え、穴や溝を始めとするさまざまな機能を加えていく。それらはすべて多品種小ロット対応になるので、コストアップにつながりやすい。それだけにネジメーカーには、短納期で質の高い製品を低コストで提供することが求められているのだ。

その課題に対応するため、同社ではまず協力工場と強固な関係を構築している。創業当初から続くネジ加工の委託先との信頼を大切にしており、自社加工が増えた現在でも、約200社の協力工場を有している。

また、同社は大手機械メーカーや材料メーカーとも連携を持つ。技術ノウハウを提供してもらうことで受注を増やし、それによって最新の加工機械や

材料の購入を行うという協力関係をつくっているのだ。

自開

オリジナルの管理ソフトや装置で生産性を高める

同社のもう一つの強みは、自社で開発した管理ソフトによる生産だ。

製造部門では不良品発生を未然に防ぐために、多面的に品質検査ができる自動計測ソフトを作成して全部署に配置。また、営業部門の生産管理ソフトでは、生産状況や顧客情報等を網羅して、仮に顧客の発注ミスがあっても納期遅れが出ないよう工夫を凝らしている。

その他にも、同社ではさまざまな自作機械を開発。ネジの選別機や圧造工程での異常検出装置、伝票自動搬出装置等を開発し、生産の効率化に役立っている。

今後の展望

人づくりを大切にしながらさらなる品質向上を目指す

「当社は『特殊ネジの三和』と言われてきましたが、今では他社も特殊品を生産されています。ですからこれから力を入れていきたいのは人づくりです」と榎本社長。「製品の精度だけでなく、社内のすべてが『品質』である」というのが榎本社長の考えだ。

今後は新たな機械設備も投入しながら製品の質を高めると同時に、社員教育をさらに充実させ、ものづくりの楽しさを追求していくのが目標だ。



COMPANY PROFILE

株式会社三和鋳螺製作所

ISO 9001

当社の歴史

伯父の経営していたネジ商社を父が引き継いだ後、ものづくりをしたいと考え当社を起こしました。創業当初は製造のノウハウがなかったものの、コツコツ技術を積み上げて、特殊ネジで評価していただけるまでになりました。先代がよく言っていたのは「お客様に迷惑をかけず、うそをつかない商売をし、最後まで責任を持つ」。その思いをずっと守ってまいります。

「お客様に迷惑をかけない」「最後まで責任を持つ」。これが基本だと思います。

代表取締役社長 榎本 宏志さん



■主な事業内容

特殊サイズ・特殊形状ネジの製造、冷間圧造部品の製造 等

■主な取引先（納入先）

自動車部品メーカー、
建築金物メーカー、
電機メーカー、
医療機器メーカー 等

住 所 / 〒578-0982

東大阪市吉田本町
2-7-9

T E L / 072-963-0381

F A X / 072-964-5502

創 業 / 昭和25年8月

設 立 / 昭和32年5月

資本金 / 7,894万円

従業員 / 84名

<http://www.sanwabyora.co.jp/>